

将来ビジョン2030 第1期中期事業計画



2022年1月

日本BPO協会

2020年1月に定めた「将来ビジョン 2030」の実現を
着実に目指すため、中期的観点から計画的に取り組むことが適当
な課題については、3年間程度の中期事業計画を策定し、これを
踏まえて単年度の事業計画を策定するとともに、必要に応じて、
中期事業計画を見直すこととする。

計画期間 2021年度～2024年度

■ 1 キャリア形成に役立つキャリア面談の推進

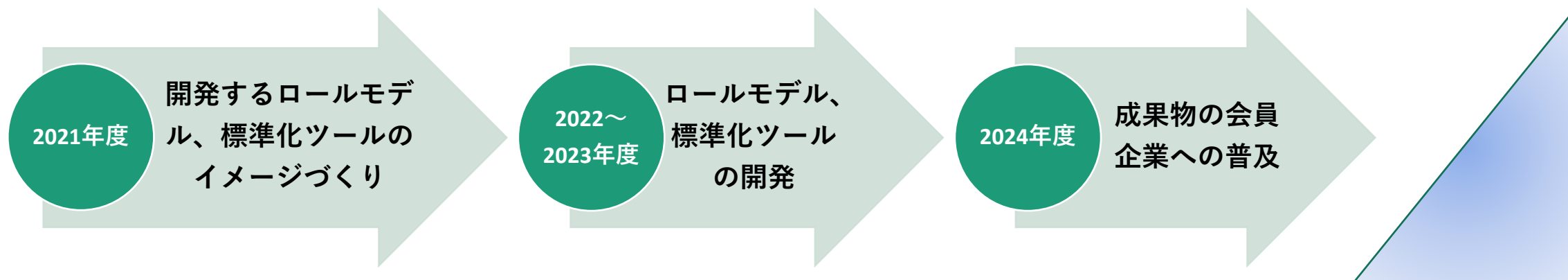
キャリア面談を適切に実施して、スタッフの仕事に対する不安を解消し、将来に対する展望を持てるようにすることは会員企業の大きな課題である人材の確保・育成対策を推進する上でも不可欠であるので、キャリア面談担当者のロールモデルならびにキャリア面談の標準化ツールを開発し、会員企業のキャリア面談を支援する。

■ 1 キャリア形成に役立つキャリア面談の推進

会員企業の取組事例を基に、プロジェクトチーム方式で以下に取組むこととする。

① **ロールモデル**：キャリア面談担当者に期待される役割、スキル

② **標準化ツール**：キャリア面談の対象者別・時期別フロー、フォーマット等の開発



■ 2 ポリテクセンターと連携した人材の育成

我が国の経済社会の発展を図る上で、人への投資が注目されている。製造現場でも、AI、IoT等の進展により必要とされる派遣・請負人材が高度化し、それに対応した人材育成が必要となる。まず、人材育成のターゲットを設備保全分野（機械保全、電気保全）におき、事業分野の拡大につなげていくこととする。

このため、ポリテクセンターと連携して、訓練コースをカスタマイズして、会員企業向けの訓練コースを開発し、訓練を実施する。また、訓練受講生の活用事例を積み重ね、高度化に対応した人材の育成・活用モデルを作成する。

必要に応じて、プロジェクトチームを設置して取り組む。
また、上記のほか、これまで取り組んできたポリテクセンターの訓練の受講促進、離職者訓練修了者等の採用も引き続き推進する。

■ 2 ポリテクセンターと連携した人材の育成

2021年度

- ポリテクセンターと協議して設備保全分野の訓練の枠組みを整理する

2022年度

- ポリテクセンターにおいて設備保全分野の訓練をトライアル実施、検証
- 訓練受講者に対するフォローアップ訓練の実施、新たな就業機会の開拓等を行う

2023～2024年度

- 引き続き、ポリテクセンターと連携して訓練を実施し、事例を積み重ね、高度化に対応した人材の育成・活用モデルを作成し、会員企業に提供する

■ 3 領域拡大分野での会員拡大の推進

領域拡大分野での会員拡大は、業界の健全な発展を推進し、協会の発信力を高めるとともに、会員企業の幅広い分野での事業展開にも資するものである。

領域拡大については、当面、特に重点分野を設けず、幅広い分野で加入勧奨を行うこととし、相当数の企業が入会した分野においては、部会を設けることとする。

このため、領域拡大分野を対象とした加入勧奨ツールを整備し、各種セミナー、交流会、支部活動等の場を活用して、会員拡大を図る。

また、技術分野においては、この分野で事業展開している既存会員による意見交換の場を設け、課題等の共有や情報交換を行うことにより、会員企業に対する支援を開始し、新規会員の獲得につなげるものとする。

■ 4 支部の設立推進による会員サービスの拡充

2020年度に関西・中四国支部を設立したことにより、地域の会員企業の協会活動への参加意欲が高まり、会員拡大にもつながるなど、大きな成果を挙げている。2021年6月に関東支部を設立したところであるが、引き続き、他地区においても支部設立に取り組み、会員サービスの充実、会員拡大を図る。

2022年度 北海道・東北支部設立

2023年度 九州支部設立

2024年度 東海・北陸支部設立